

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

平成30年 6月29日

愛知県知事殿

届出者

住所 愛知県刈谷市昭和町1丁目1番地
氏名 株式会社デンソー

取締役社長 有馬 浩二

愛知県安城市里町長根2-1
株式会社デンソー安城製作所
所長 大村 雅人

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0566-96-0131

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、平成27年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社デンソー 安城製作所
事業場の所在地	愛知県安城市里町長根2-1
事業の種類	電気機械器具製造業
産業廃棄物処理計画における 計画期間	平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	11590 t	全処理委託量	2325 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への 処理委託量	1198 t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への 処理委託量	2325 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	9265 t	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 汚泥)

有 傷 物 量

不要物等発生量

自ら直接
再生利用した量

② 0

排 出 量

① 9,397

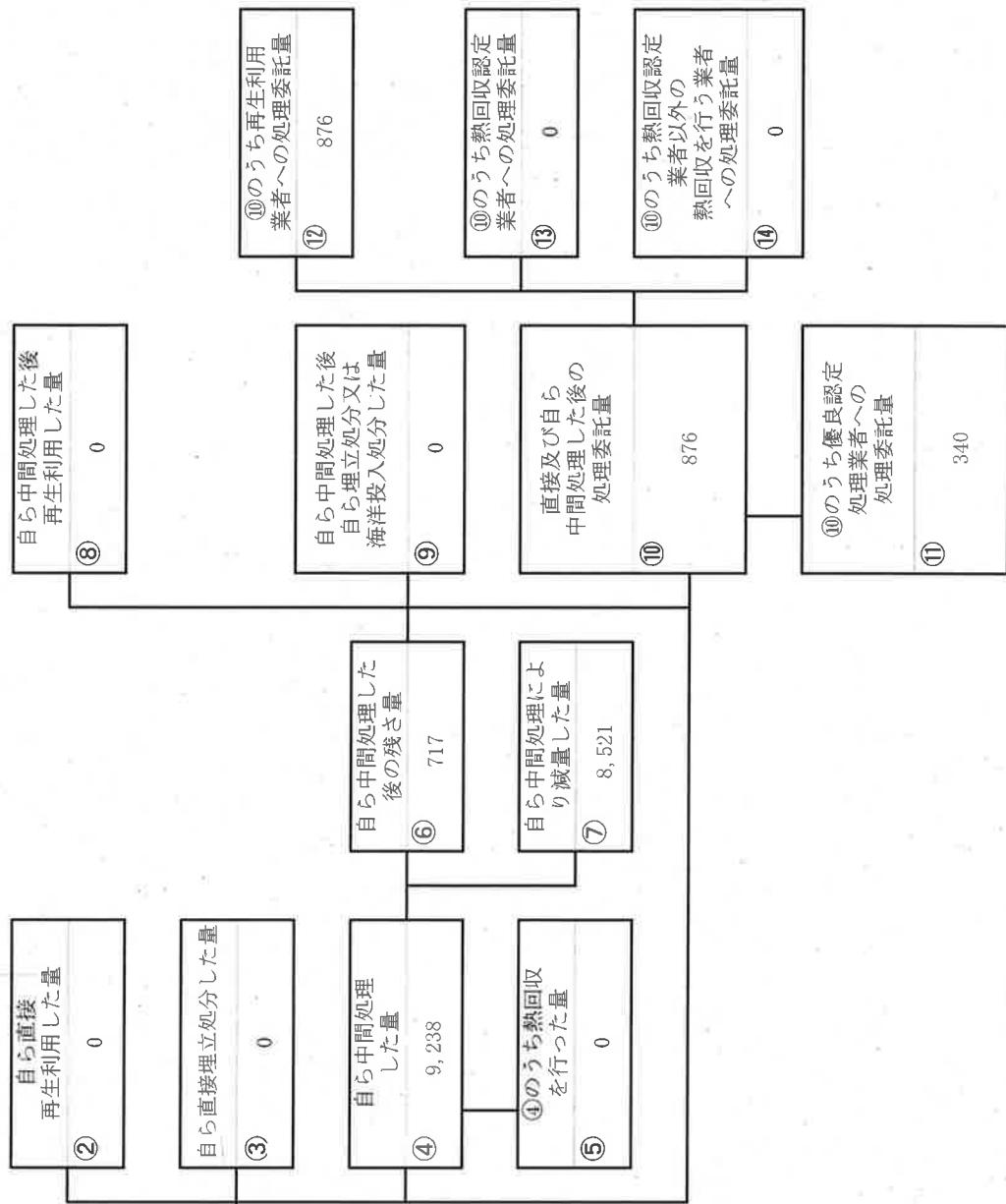
自ら直接埋立処分した量

③ 0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧ 0

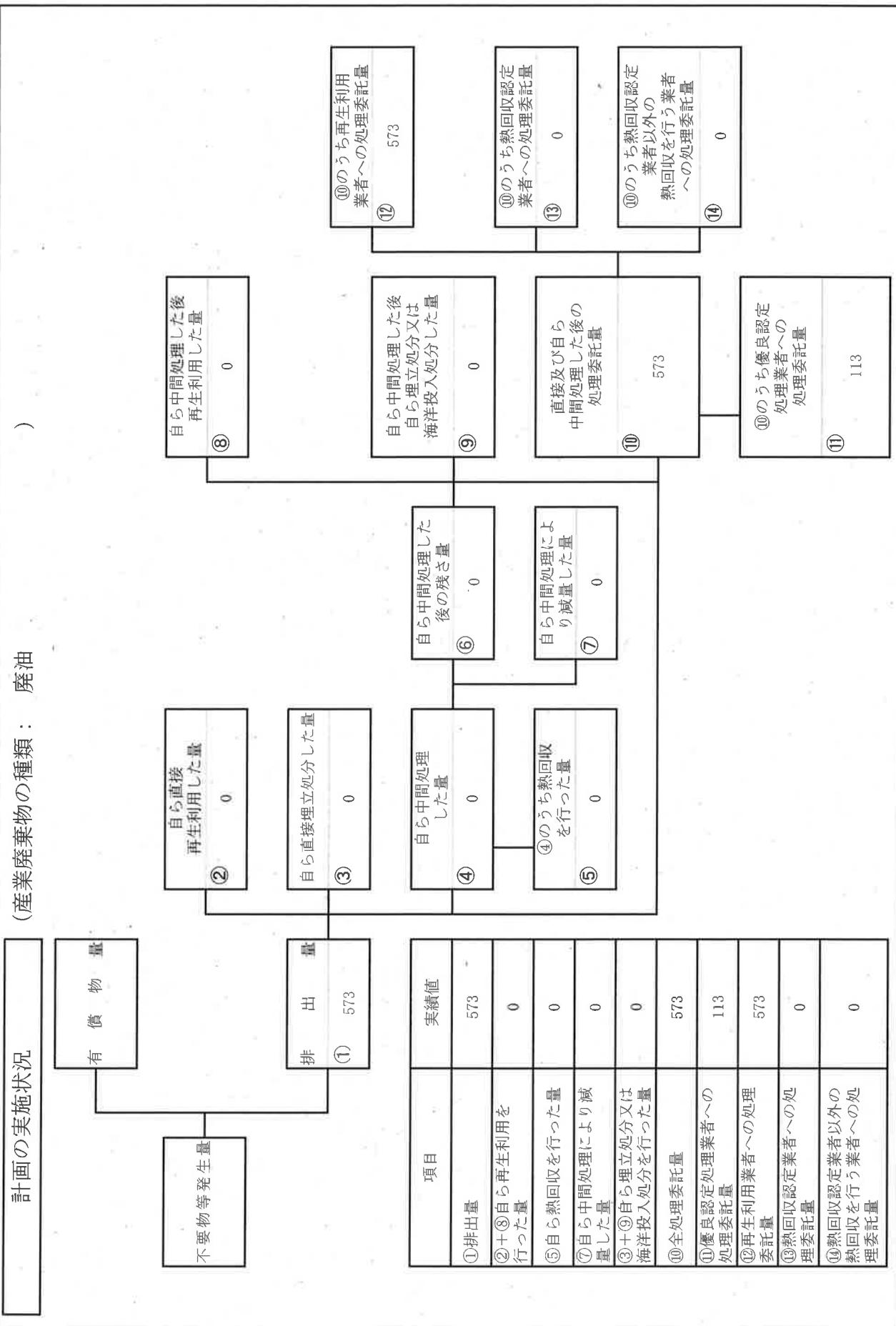
項目	実績値
①排出量	9,397
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑥自ら中間処理した後の残さ量	717
④のうち熱回収を行った量	9,238
⑦自ら中間処理により減量した量	8,521
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	876
⑪優良認定処理業者への処理委託量	340
⑫再生利用業者への処理委託量	876
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	0
⑮うち優良認定業者への処理委託量	340



(第2回)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃油)



(第2画)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 : 廃酸・アルカリ)

有 償 物 量

不要物等発生量

排 出 量
① 29

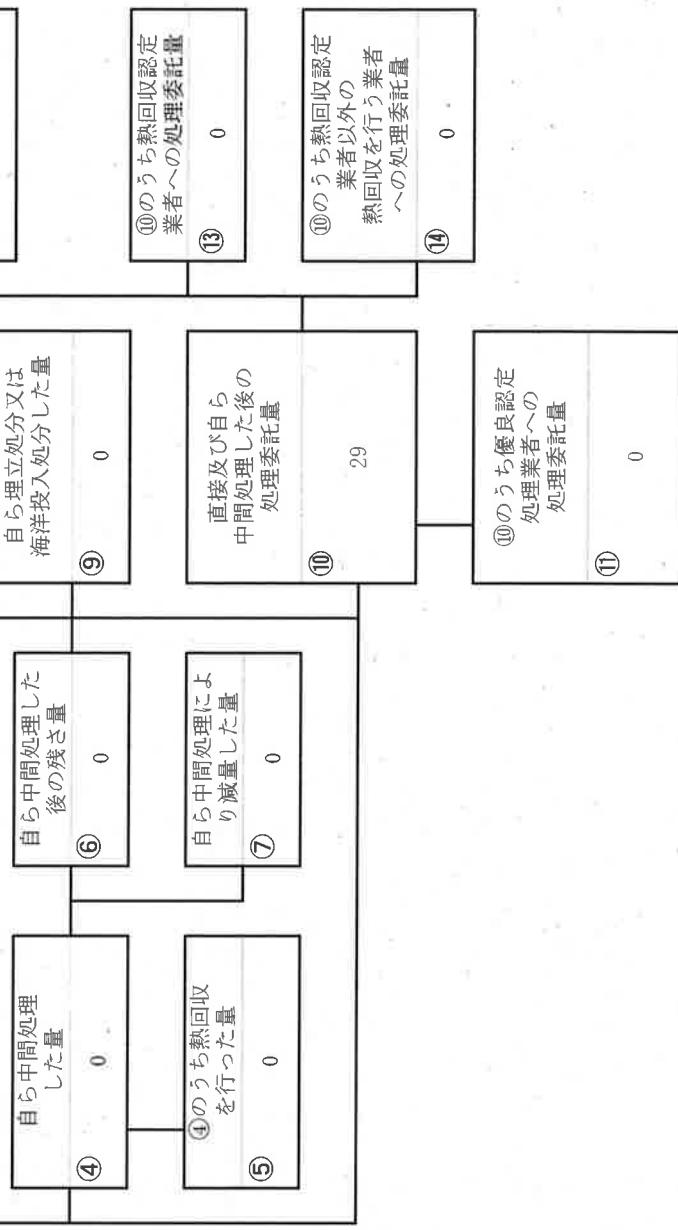
自ら直接埋立処分した量
② 0

自ら直接再生利用した量
③ 0

自ら中間処理した後
再生利用した量
⑧ 0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量
⑨ 0

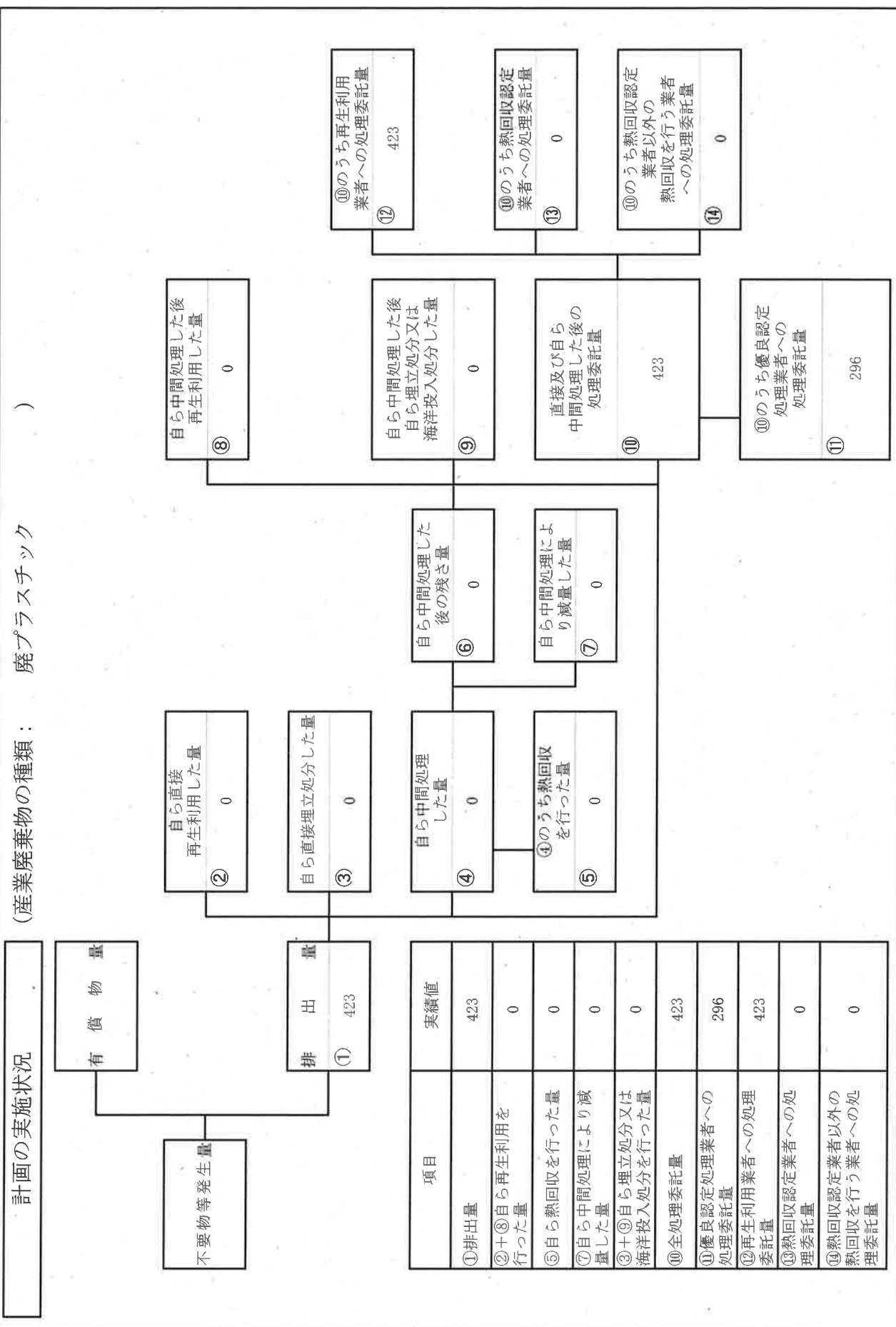
項目	実績値
①排出量	29
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑪全処理委託量	29
⑫優良認定業者への処理委託量	0
⑬再生利用業者への処理委託量	29
⑭熱回収認定業者への処理委託量	0
⑮熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	0



(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック)



(第2回)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 金属くず)

有 債 物 量

不要物等発生量

排 出 量
① 184

自ら直接埋立処分した量
② 0

自ら中間処理した後
再生利用した量
⑧ 0

項目	実績値	
①排出量	184	
②+⑧自ら再生利用を行った量	0	
⑤自ら熱回収を行った量	0	
⑥自ら中間処理した後の残さざ量	0	
⑦自ら中間処理により減量した量	0	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	
⑩全処理委託量	184	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	33	
⑫再生利用率	184	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行いう業者への処理委託量	0	

自ら直接埋立処分した量
③ 0

自ら中間処理した後
再生利用した量
⑫ 184

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量
⑨ 0

自ら中間処理した後
再生利用した量
⑭ 0

自ら中間処理によ
り減量した量
⑦ 0

自ら中間処理した後
の残さざ量
⑩ 184

直接及び自ら
中間処理委託量
⑪ 0

⑪のうち再生利用
業者への処理委託量
⑫ 184

⑪のうち熱回収認定
業者への処理委託量
⑬ 0

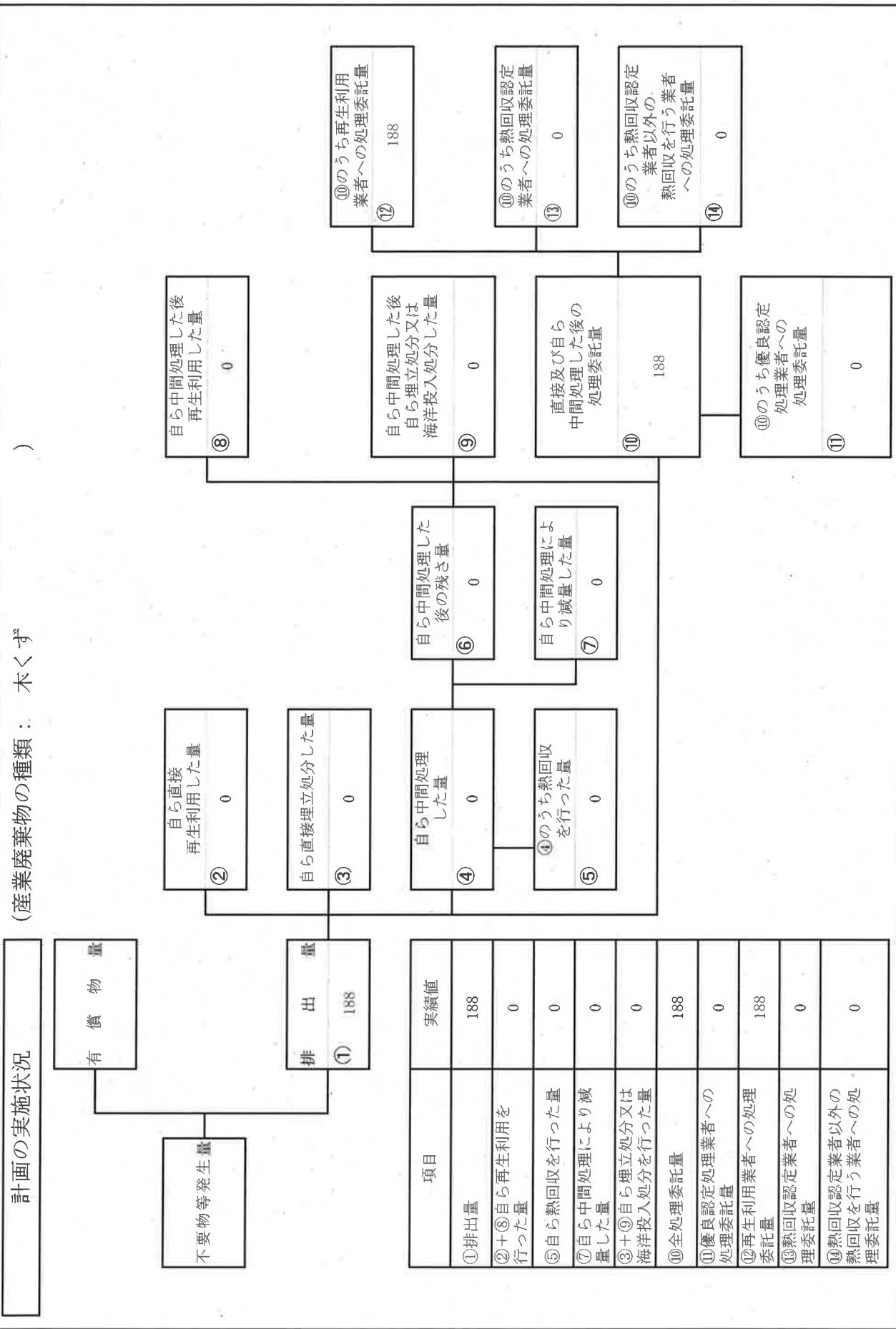
⑪のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行いう業者
への処理委託量
⑭ 0

⑪のうち優良認定
処理業者への
処理委託量
⑮ 33

(第2回)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 木くず)



(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： ガラス陶磁器)

有 債 物 量

不要物等発生量

排 出 量

自ら直接
再生利用した量

自ら直接埋立処分した量

項目 実績値

)

自ら中間処理した後
再生利用した量

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

自ら中間処理した
後の残さ量

自ら中間処理した
後の残さ量

自ら中間処理によ
り減量じた量

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量
10

⑪のうち熱回収認定
業者への処理委託量
0

⑫のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量
0

⑬のうち熱回収認定
業者への処理委託量
0

⑭のうち優良認定
処理業者への
処理委託量
0

② 0

③ 0

⑥ 0

⑨ 0

⑩ 10

⑦ 0

⑪ 0

④のうち熱回收
を行った量

⑤ 0

②+⑧自ら再生利用を
行つた量

⑤自ら中間処理によ
り減量じた量

⑪全処理委託量
10

⑩優良認定処理業者への
処理委託量
0

⑫再生利用業者への処
理委託量
10

⑬熱回収認定業者への 処理委託量 0	⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量 0
--------------------------	---

(第2回)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令 第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。